

URA事業採択校セッション

「研究戦略推進支援におけるURAの役割」

大阪大学 副学長(URA担当)
大型教育研究プロジェクト支援室 統括マネージャー
池田雅夫

第4回URAシンポジウム／第6回RA研究会
2014年9月18日

世界的な研究型総合大学

「物事の本質を見究め、世界に羽ばたく」

目標：世界トップ10（2031年、創立100周年）

1. 大阪大学未来戦略機構の創設
2. 本質を究め未来を創造する研究
3. 世界に通用する人を育む教育
4. 世界が大阪大学を目指す国際戦略

総長によるガバナンスの強化



5. 豊かな社会を生み出す産学連携
6. 大学と人と地域が交流する社会学連携
7. 質と倫理を兼ね備えた大学病院
8. 教育と研究の基盤を支える大学運営

人事制度と財務制度の改革

大阪大学未来戦略機構の創設

◆ 戦略企画室の設置

- 大学の有する教育・研究資源を的確に把握し、戦略的・大学経営に資する様々なデータの収集、調査、分析、提供、提言を効率的・効果的に行うIR(機関研究)チームを組織

本質を究め未来を創造する研究

◆ 大阪大学の最先端研究に対する支援

- リサーチ・アドミニストレーターを充実させ、最先端研究プロジェクト推進のための大型資金の獲得や研究環境の整備等を支援

19世紀の「適塾」から、21世紀の「世界適塾」へ

大阪大学の理念

大阪大学は、「物事の本質を見極める」高いレベルの学問を追求し、グローバル社会で活躍できる人材を輩出する「学問の府」となるとともに、学問による「調和ある多様性」を創造する。

1838年 適塾
大阪大学の原点



緒方 洪庵



- ◆ 日本全国から、藩や身分の違いを越えて志の高い若者が学問を求めて集まり、互いに切磋琢磨
- ◆ 緒方洪庵の人のため、世のため、道のためという無私のも精神と倫理観に導かれ、徹底した国際教育を基にしつつ、真理と知の探求、社会的課題の解決に取り組む
- ◆ その後、彼らの多くは明治維新において、まったく新しい近代日本をデザインし、作り上げたリーダーとして、歴史を変える大きな貢献

日本から世界に目を向け、
地球規模の課題解決のために



世界中から
高いレベルの教育研究に励む
学生・教員・研究者が集い学ぶ場

URA：社会学連携や国際交流担当の部署と協力しつつ、
世界適塾構想を学内外に広める活動の一翼を担う

2010年～

1. 個々の研究者または研究グループの競争的資金獲得支援
 - ・最先端・次世代研究開発支援プログラム (NEXT)
 - ・日本学術振興会特別研究員
 - ・大型科研費 (ヒアリングのあるもの)
 - ・JST戦略的創造研究推進事業 (CREST、さきがけ、ALCA)

2011年～

1. 個々の研究者または研究グループの競争的資金獲得支援
2. 大学全体で応募するプロジェクトの獲得支援
 - ・博士課程教育リーディングプログラム (2011～2013)
 - ・研究大学強化促進事業 (2013)
 - ・スーパーグローバル大学創成支援事業 (2014)

2012年～

1. 個々の研究者または研究グループの競争的資金獲得支援
2. 大学全体で獲得すべきプロジェクトの獲得支援
3. 研究戦略推進支援
 - ・大阪大学の研究力の強みと弱みの把握
 - ・世界大学ランキングの分析

基本：研究戦略を立案することはURAの役割には含まれない(と考えたほうがよい)

URAの役割

1. 研究戦略の立案のための良質の材料を意思決定者に提供すること
2. 研究戦略の実現のために、知恵を絞り、学内での普及に努めること
3. 研究戦略の実現のために、効果的な情報発信に努めること
4. 研究戦略の進捗状況を適切に把握し、意思決定者に伝えること

URAに必要な心構え

1. 意思決定者の信頼を得ること
2. 事務系職員と協調すること
3. 事務系職員や意思決定者にはできないことをすること
4. 課題をできる限り多面的に捉えること
5. 意思決定者の結論を意図的に誘導しないこと
6. 明確に規定されていない事柄についても、守秘に注意すること

大学単位を対象としたプログラムの 申請書作成

博士課程教育リーディングプログラム、
研究大学強化促進事業など

大学の意思に沿った申請書作成

文部科学省の概算要求を読む会

部局長クラスを対象に輪講形式で実施
事務の部課長がコメンテーター

一部の部局長から、輪講形式はけしからん。
URAが要点を絞って、解説すべきだという
批判があった

学内公募プロジェクトの進捗把握

若手の分野融合プロジェクト「未来知」

各グループミーティングを適宜、傍聴
担当理事への報告

大阪大学の研究力の分析 I 世界大学ランキング

研究大学強化促進事業、スーパー
グローバル大学創成支援事業などの
申請のために

世界大学ランキングの計算方法が年ごとに
変更されている場合があると指摘しつつ

大阪大学の研究力の分析 II 強みと弱みの分析

これから強化すべき研究グループ、
特に人文・社会科学系分野の調査

論文数や被引用数に現れない情報の収集や
世界の人文・社会科学系研究の動向も調査

海外向けパンフレットの作成

一目で大阪大学と大阪が分かるもの

デザイン、コンテンツの選定等
国際交流課と協働